

4月16日（月）に知の拠点 あいちの見学会が行われました。



場 所：「知の拠点あいち」（あいち産業科学技術総合センター）
（豊田市八草町秋合 1267-1）

東部丘陵線リニモ「陶磁資料館南駅」下車すぐ

本学に隣接する「知の拠点 あいち」（あいち産業科学技術総合センター）は、愛知県の次世代ものづくり技術の創造・発信拠点と位置付けられる、産学官連携の共同研究開発拠点です。愛



知県立大学情報科学共同研究所は、「知の拠点」事業で3つの研究テーマの1つ「超早期診断開発技術開発プロジェクト」に参画。平成22年度の予備研究を経て、平成23年度から研究員とスタッフを迎え、5年間の本格研究を進めています。

超高齢化社会の到来に伴い、医療現場では「より早く・より簡便な」疾病の早期発見技術が待ち望まれています。

情報科学共同研究所では「動脈硬化の超早期発見」テーマのメンバーとして、血管のメカニズムの数理モデル化、コンピュータシミュレーションによって、簡便な検査のみで動脈硬化の兆候を超早期発見する技術を研究しています。

その技術力に、内外からも大きな期待が寄せられています。





ホール



研究室